

様式1



領収書等添付一覧表

(令和3(2021)年度)

支出項目	研修費			
整理番号	支出年月日	支出内容	支出金額	支払先
2-1	R3.7.19	イノシシ被害対策講演会	14,644円	(株)ういるこ
2-2	R4.1.13	研修会参加費	10,000円	マニフェスト研究会
2-3		以下空欄		
2-4				
2-5				
2-6				
2-7				
2-8				
2-9				
2-10				
2-11				
2-12				
2-13				
2-14				
2-15				
計			24,644円	

※支出項目ごとに支出年月日順にまとめ、表紙として提出してください。

様式6

会派長	経理責任者
相澤宗 	近藤由香里 

政務活動費

令和3年7月19日

氏名 近藤 由香里 

政務活動経費請求書 (精算書)

政務活動経費について、次の通り請求 (精算) します。

月 日	項 目	金 額	備 考
7月19日	講師謝金	14,644	イノシシ被害対策講演会
合 計		14,644	
概算 (仮) 払額			
差引	(請求額)	14,644	
	(返金額)		
(備考)			

支 出 項 目	<input type="checkbox"/> 1 調査研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 2 研修費 <input type="checkbox"/> 3 広報費 <input type="checkbox"/> 4 広聴費 <input type="checkbox"/> 5 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 6 会議費 <input type="checkbox"/> 7 資料作成 <input type="checkbox"/> 8 資料購入費 <input type="checkbox"/> 9 人件費 <input type="checkbox"/> 10 事務所	整理番号 (項目別)
		2 - 1

領 収 書 等 整 理 票

会派名 民友

整理番号 2 - 1 - 1

支 出 項 目		※該当する項目に○印	
1 調査研究費	② 研修費	3 広報費	4 広聴費
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費
9 人件費	10 事務所費		

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

**お取引明細票**

※毎度ご利用いただきありがとうございます。  
お取引の明細は下記のとおりでございます。

お取引日	取扱店	号機	NB	通番
03-07-19	130	32	N	90
銀行番号	口座店	口座番号		
お取引内容		お取引金額		
振込		¥14,244		
1 手数料	4 消費税込手数料	¥440		
硬貨	¥684			
お取引後元帳残高		14:29		
* お振込明細		案 内 3A0090		
お振込先 大光銀行 本店営業部 普通 カ)ウイルコ 様				
ご依頼人 カンワサキシキカイ ミンシュウ 様				
TEL0257-21-2340				


第四北越銀行  
※印紙税申告納付につき新潟県内のみ有効

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

# 請求書

2-1-2

民友 御中

振込先  
大光銀行 本店営業部 (普)   
株式会社ういるこ 代表取締役 山本麻希

備考  
振込手数料はご負担願います。  
支払期日を過ぎてのご入金には、ご一報いただけますと幸いです。

# WILCO

株式会社ういるこ 代表取締役 山本麻希

〒940-2127  
新潟県長岡市新産4-1-10  
NARIC 201号室  
TEL: 0258-86-0880  
FAX: 0258-86-1780

請求書番号: 21J0153\_2  
請求日: 2021/07/15  
お支払期限: 2021/08/31

件名: R3年7月13日開催 イノシシ被害対策講演会(座学120分)



小計	うち消費税
14,244 円	1,294 円

ご請求金額
14,244 円

品目	単価	数量	単位	価格
講師料経費	14,244	1	式	14,244


内訳 10%対象 12,950 円  
消費税 1,294 円

様式 5

会派長	経理責任者
相澤宗一 	近藤由香里 

政務活動費

令和3年7月19日

報告者氏名 近藤 由香里 

政務活動報告書（実施報告書）

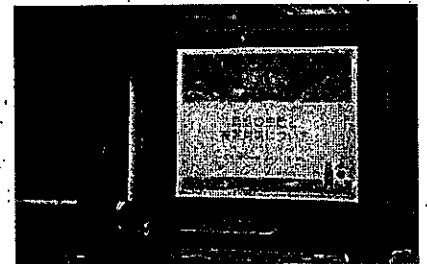
下記のとおり報告します。

種 別	<input checked="" type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 市民報告会 <input type="checkbox"/> 住民相談等 <input type="checkbox"/> 各種会議
日 時	令和3年7月13日（火）                      13:00 ~                      15:00
会 場	柏崎市役所 2階 委員会室
名 称	鳥獣被害対策研修会「鳥獣被害の現状と対策について」
目 的	野生動物の生態と被害対策について知見を得る
参 加 者	・市民 _____ 名 ・会派議員 相澤宗一、佐藤和典、近藤由香里
そ の 他	

# 研修報告

報告日 令和3年7月19日

会派名	民友
報告者氏名	相澤宗一、佐藤和典、近藤由香里
種別	<input type="checkbox"/> 調査研究（ <input type="checkbox"/> 行政視察） <input checked="" type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 各種会議
用務	鳥獣被害対策研修会「鳥獣被害の現状と対策について」
日時	令和3年7月13日（火）13:00～15:00
場所 （会場）	柏崎市役所 2階 委員会室
概要	<p>【講師】 山本 麻希 先生</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国立大学法人 長岡技術科学大学准教授</li> <li>・NPO法人 新潟ワイルドライフリサーチ副代表</li> <li>・(株)ういるこ代表取締役社長</li> <li>・環境省 鳥獣保護管理プランナー</li> </ul> <p>【野生動物の生態と被害対策について】</p> <p><u>1. イノシシの生態と被害</u></p> <p>生態：体重 50～150 kg。昼行性（集落周辺では夜行性）。50 km/時で移動 1mジャンプ・春～秋出産（平均 4.5 頭）・寿命 10 歳以下。増加率 1.64 倍 西日本から東北へ分布中。川を伝って移動する。</p> <p>被害：①農作物被害（特に水稻）②生活被害 ③交通事故 ④人身被害 が発生</p> <p><u>2. イノシシの被害対策</u></p> <p>&lt;野生動物被害対策の3本柱&gt;</p> <p>①被害防除（人）：電気柵などで農作物を守って被害を減らす直接的防除</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・光、音、においの忌避効果→最初だけ。</li> <li>・電気柵→「痛い」ことを学習させて進入を防ぐ。生態を考慮して設置しないと効果が出ない（高さ・設置場所等）。電気柵を張ると他の地域に移動、都市部への出没原因になる。同時に捕獲が必要。仕組みを理解し無理なく管理し、導入後は設置指導・策をチェックする体制を整備する。</li> </ul> <p>②個体数管理（動物）：野生動物の数を管理して被害を減らす直接的防除</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農水省の目標捕獲数は年間 65 万頭。H30 年度：全国 60 万頭、新潟県 4000 頭。減らすには 7 割以上の捕獲が必要だが、狩猟者が高齢化し減少している。</li> <li>・積雪で効率よい冬に生息地（山）で狩猟、夏に加害個体を罠で捕獲するとよい。</li> <li>・罠：箱罠、くくり罠など→いちど捕獲に失敗すると学習し再度は罠にかからない。見回りするタイミングも重要（センサー利用など）</li> </ul>



③生息地管理（環境）：集落周辺の草刈り等による間接的防除

- ・餌付け要因の排除：家庭生ごみはコンポストへ。柿・栗など果樹はきちんと収穫し、放置果樹は伐採。竹林、耕作放棄地もイノシシが好む環境。
- ・隠れ場所をなくす（緩衝帯の設置）

3. 中型獣類の生態と被害対策

- ・アライグマ、ハクビシンは外来種。特にアライグマは早期の駆除が必要。
- ・アライグマ：夜行性。水辺を好む。植物・動物ともに餌とする（両生類等）。年増加率48%。トウモロコシ、スイカ、メロン、養魚などで被害が発生。寺社をねぐらにし、文化財被害も報告されている。狂犬病など感染症を媒介する恐れがある。現在、新潟県内でアライグマの分布調査を実施、確実に広がってきている。

【主な質疑】

Q1) 昨今のジビエブームの影響を受け、ジビエ産業は成り立つか。

A1) 解体処理施設で一人雇うには300頭/年が必要だが、利活用率10%なので3000頭/年は捕獲しなければ採算が合わない。農家民宿等で地元狩猟者から提供された肉を用いてジビエ料理を出すケースはある。



Q2) アライグマ駆除の具体的な対策は。

A2) 自治体で防除計画を策定することが必要。

所感等

【相澤宗一】

警戒心が強く、学習能力が高いイノシシは害がないと判断すれば、たびたび人家に近づき悪さを働く。よって危険を学習させる必要があり、それを広い範囲で施すことが重要。それには集団での取り組みが不可欠だが、イノシシが現れる集落は得てして高齢化が進む集落でもある。ゆえに集落がイノシシに負けないためにも若い力が継続的に注がれるような施策を鳥獣対策と合わせ進めていかねばならないと感じた。



【佐藤和典】

ここ数年、野生動物の生息数や生息地域の変化により、柏崎市内においても住宅のすぐ近くや田畑にまで、イノシシやシカ、クマなどが現れるという事態が起きている。今回のポイントは、「イノシシやシカ、クマらを害獣とみなさず、共に生きていける社会を目指すため」の講義と受け取った。現在では、これらの動物が増えすぎたため、人間との軋轢が増え、被害を減らすために多くの動物を殺処分しなくてはならない。しかし、そうではなく、生態系を理解し動物の個体数を管理する。そのデータに基づき、低密度のうちに最低限の動物を「間引き」して共存を図っていく。ことが大事であると理解した。アライグマの被害も今後は予見されることから調査研究を続けていきたい。

【近藤由香里】

主としてイノシシの生態と被害対策について、実態をふまえた効果的な方法について知ることができた。電気柵等による被害防除はあくまでも進入防止策であり、捕獲により個体管理しなければ根本的な解決にはならないことが理解できた。また新たな脅威としてアライグマの存在があり、増えすぎてから対応するのではなく、事前に防除計画策定等、対策を立てておくことが必要だが、理解促進が課題だと感じた。

様式3

会派長	経理責任者
	

政務活動費

令和3年 7月



氏名 相澤 宗一  
 佐藤 和典  
 近藤由香里



政務活動申出書

次のとおり申出します。

種 別	<input type="checkbox"/> 調査研究 ( <input type="checkbox"/> 行政視察 ) <input checked="" type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 各種会議等	
期 間	令和3年7月13日 (火)	
用 務	1	会派研修会 (鳥獣被害対策研修会)
	2	
	3	
	4	
出張先	1	市役所2階 委員会室
	2	
	3	
	4	
調査又は 要望項目  ※研修会、各種会議 は記入不要	1	
	2	
	3	
	4	
そ の 他		

添付書類 ・ 調査研究 (行政視察含む) 、 陳情・要請活動の場合は行程表等  
 ・ 研修会、各種会議等参加の場合は、内容がわかる書類等 (写し)



# 見積書

阿部 基様

備考

- ・研修1回あたりの費用です。
- ・資料での資料印刷を減らすことも可能です(別途費用あり)。
- ・間接経費には事務手数料、通信費等が含まれます。

# WILCO

株式会社ウイルコ 代表取締役 山本麻希

〒940-2127  
新潟県長岡市新庄4-1-10  
NARIC 201号室  
TEL: 0258-86-0880  
FAX: 0258-00-1700

見積書番号: 21101531  
発行日: 2021/06/23  
有効期限: 2021/07/31

件名: イノシシ被害対策講演会(座学120分)

小計	消費税
77,700 円	7,770 円

御見積金額
85,470 円

品目	単価	数量	単位	価格
I 人件費等				
勉強会講師(120分)	50,000	1	講義	50,000
スライド制作費	10,000	1	式	10,000
テキスト費(データ提供)	3,000	1	講義	3,000
II 諸経費				
I. 交通費(普通自動車1台:長岡~柏崎)	2,100	1	任意	2,100
III 間接経費(Iの20%)	12,000	1	式	12,000

内訳 10%対象 77,700 円  
消費税 7,770 円

鳥獣被害対策研修会経費按分（案）

柏崎の風 山本

1. 支出費用

・講師料経費（消費税含む） 85,470円

小計 85,470円

2. 各会派按分

$85,470円 \div 18 \approx 4,748円$

・柏崎の風（9人）  $4,748円 \times 9人 \approx 42,738円$

・民友（3人）  $4,748円 \times 3人 = 14,244円$

・公明党（2人）  $4,748円 \times 2人 = 9,496円$



・柏盛（2人）  $4,748円 \times 2人 = 9,496円$

・自治研究会（2人）  $4,748円 \times 2人 = 9,496円$

合計 85,470円

※ ジビエ加工施設見学については、「柏崎の風」の車での乗り合わせを予定していますので経費は考えていません。

以上

会派長	経理責任者
	

政務活動費

令和4年1月26日

氏名 相澤 宗一  
佐藤 和典



政務活動経費請求書（精算書）

政務活動経費について、次の通り請求（精算）します。

月 日	項 目	金 額	備 考
1月13日	出席者負担金 会費	10,000	研修会参加費5,000円/人×2人
合 計		10,000	
概算（仮）払額			
差引	（請求額）	10,000	
	（返金額）		
（備考） 1月18日（火）「政策づくりと議会図書室」			

支 出 項 目	<input type="checkbox"/> 1 調査研究費 <input checked="" type="checkbox"/> 2 研修費 <input type="checkbox"/> 3 広報費 <input type="checkbox"/> 4 広聴費 <input type="checkbox"/> 5 要請・陳情活動費 <input type="checkbox"/> 6 会議費 <input type="checkbox"/> 7 資料作成 <input type="checkbox"/> 8 資料購入費 <input type="checkbox"/> 9 人件費 <input type="checkbox"/> 10 事務所費	整理番号 （項目別）
		2 - 2

相澤宗一様

一般社団法人マニフェスト研究会  
ローカル・マニフェスト推進連盟事務局2022年1月18日(火) LM研修会「政策づくりと議会図書室」領収書の送付につきまして  
拝啓お世話になっております。日頃は、ローカル・マニフェスト推進連盟の活動へご理解・ご  
協力賜り、ありがとうございます。この度は、2022年1月18日(火) LM研修会「政策づくりと議会図書室」へお申し込み  
いただきまして、誠にありがとうございました。本日、参加費納入の領収書を送付します。ご多用のところお手数をおかけし恐れ入りますが、何卒宜しくお願い致します。ご不明な  
点等ございましたら、下記問合せ先までご連絡ください。

敬具

## 【お問合せ】

ローカル・マニフェスト推進連盟事務局 (早稲田大学マニフェスト研究所内)  
担当: ██████████ TEL: 03-6709-6739 / Mail: mani@maniken.jp

## 領 収 書

相澤宗一様¥ 5,000-

但: 「政策づくりと議会図書室」(2022年1月18日(火)開催) 研修会参加費として

2022年01月13日領収

ローカル・マニフェスト推進連盟事務局  
一般社団法人マニフェスト研究会  
代表理事 中村 健〒162-0041  
東京都新宿区早稲田鶴巻町517番地1  
ドロード早稲田402  
電話: 03-6709-6739

佐藤和典 様

一般社団法人マニフェスト研究会  
ローカル・マニフェスト推進連盟事務局2022年1月18日(火) LM研修会「政策づくりと議会図書室」領収書の送付につきまして  
拝啓

お世話になっております。日頃は、ローカル・マニフェスト推進連盟の活動へご理解・ご協力賜り、ありがとうございます。

この度は、2022年1月18日(火) LM研修会「政策づくりと議会図書室」へお申し込みいただきまして、誠にありがとうございました。本日、参加費納入の領収書を送付します。

ご多用のところお手数をおかけし恐れ入りますが、何卒宜しくお願い致します。ご不明な点等ございましたら、下記問合せ先までご連絡ください。

敬具

## 【お問合せ】

ローカル・マニフェスト推進連盟事務局（早稲田大学マニフェスト研究所内）  
担当： ████████ TEL: 03-6709-6739/ Mail: mani@maniken.jp

## 領 収 書


佐藤和典様¥ 5,000-

但：「政策づくりと議会図書室」（2022年1月18日（火）開催）研修会参加費として

2022年01月13日領収

ローカル・マニフェスト推進連盟事務局  
一般社団法人マニフェスト研究会  
代表理事 中村 健〒162-0041  
東京都新宿区早稲田鶴巻町517番地1  
ドロード早稲田402  
電話：03-6709-6739

様式4

会派長


政務活動費

令和4年1月26日

氏名 相澤 宗一  
佐藤 和典



### 政務活動報告書

次のとおり報告します。

種 別	□調査研究 (□行政視察) ■研修会 □要請・陳情 □各種会議	
期 間	令和4年1月18日 (火) ~	
1	日 時	1月18日 (火) 13:00 ~ 1月18日 (火) 16:00
	用 務	政策づくりと議会図書室 (会場&オンライン併用)
	出張先	会派室オンライン (横浜にぎわい座 小ホール)
	調査又は 要望項目 (※)	
	対応者 (※)	
	報 告	別紙のとおり
2	日 時	~
	用 務	
	出張先	
	調査又は 要望項目 (※)	
	対応者 (※)	
	報 告	別紙のとおり



※研修会、各種会議は記入不要

# 研 修 報 告

報告日 令和4年1月26日

会 派 名	民友
報告者氏名	相澤宗一、佐藤和典
種 別	<input type="checkbox"/> 調査研究（ <input type="checkbox"/> 行政視察） <input checked="" type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 各種会議
用 務	政策づくりと議会図書室
日 時	令和4年1月18日（火）13:00～16:00
場所・会場	庁舎内 民友会派室（オンライン）
概 要	<p>【基調提起】政策づくりと議会図書室</p> <p>講師 ██████████（早稲田大学マニフェスト研究所顧問）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書室を戦略物資の中心に、そして情報の受発信基地へ。</li> <li>・議員個々の努力だけでなく、チーム・組織的に在り方を考える。議会事務局も巻き込む。</li> </ul> <p>【問題提起】なぜ議会図書室の改革が必要なのか</p> <p>講師 ██████████（公益財団法人図書館振興財団事務局長）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノーベル賞受賞者の言葉「政策決定者と研究者がどのようにコミュニケーションをとるのかももっと考えるべき」</li> <li>・日本、アメリカ、イギリスそれぞれの政府に提言する学術機関は、人数、形態、年間予算、財源からして桁が違う。</li> <li>・知は国家の礎、結合し進化を続け、その中心にあるのは図書館機能である。</li> </ul> <p>【講演】</p> <p>講師 廣木 響平（図書館総合研究所代表取締役社長）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館の在り方はどんどん変わる（2000年代からは多機能型と特化型）。</li> <li>・多機能型図書館でまちがにぎわう。</li> <li>・特化型図書館が市民の新たな知への発見をもたらす。</li> </ul> <p>【主な質疑・意見】</p> <p>Q: 議会は何をすところか。</p> <p>A: 監視機能だけではない。議決権者としていかに情報をとり政策立案するかである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTは紙からの置き換わりではなく選択肢の一つ。ICT全てに変わることはない。</li> </ul>
所 感 等	<p>【相澤宗一】</p> <p>議会図書室の在り方については、本市議会としても検討を進めてきたところである。物置からの脱却は果たせたが、議員の役割である「政策づくり」のための図書室の活用はこれからの課題として捉えており、現在「政策立案・質問づくりに資する議会図書室」に向け検討が進められている。「議会を一つのチームとして図書室の在り方を考える」との指摘をこれからの議論において生かしてまいりたい。</p> <p>【佐藤和典】</p> <p>各種講演の後、実際にカメラが横浜市議会図書室に入り、室内の紹介・説明がされた。現在私が委員長を務める議会運営委員会の研究テーマの一つとして、図書室改革が行われているが、参考にしたい点として、①議会事務局からの議員向け情報提供が秀逸、②集中できるハイカウンターの閲覧ブース、③委員会別の配架棚となっている、④新刊コーナーも手に取りやすい、が挙げられる。導入に向け、議論を進めていきたい。</p>

様式 3


会派長 相澤 宗 	経理責任者 佐藤 和典 
---	--


政務活動費

令和4年1月13日

民友

氏名

相澤 宗 

佐藤 和典 

政務活動申出書

次のとおり申出します。

種 別	<input type="checkbox"/> 調査研究 ( <input type="checkbox"/> 行政視察 ) <input checked="" type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 各種会議	
期 間	令和4年1月18日 (火) ~	
用 務	1	政策づくりと議会図書室 (会場&オンライン併用)
	2	
	3	
	4	
出張先	1	会派室オンライン (横浜にぎわい座 小ホール)
	2	
	3	
	4	
調査又は 要望項目  ※研修会、各種会 議は記入不要	1	
	2	
	3	
	4	
その他		

添付書類 ・ 調査研究 (行政視察含む)、陳情・要請活動の場合は行程表等  
 ・ 研修会、各種会議等参加の場合は、内容がわかる書類等 (写し)